

確率統計 第4回小テスト 解答

1 X と Y は独立な確率変数で、それぞれ $N(2, 1)$, $N(3, 2)$ に従う。

(1) $E(2X - Y) = 2E(X) - E(Y) = 2 \times 2 - 3 = 1$.

(2) $V(2X - Y) = V(2X + (-1)Y) = 2^2V(X) + (-1)^2V(Y) = 4 \times 1 + 2 = 6$.

(3) 「独立な確率変数 X と Y が正規分布に従うなら、 $aX + bY$ も正規分布に従う」ことから、 $X - Y$ は正規分布に従う。期待値は $E(X - Y) = E(X) - E(Y) = 2 - 3 = -1$ 、分散は $V(X - Y) = V(X) + (-1)^2V(Y) = 1 + 2 = 3$ 。したがって、 $X - Y$ は $N(-1, 3)$ に従う。

(4) (3) の結果から $Z = \frac{(X - Y) - (-1)}{\sqrt{3}}$ は標準正規分布に従う。したがって、

$$\begin{aligned} P(X > Y) &= P(X - Y > 0) = P\left(\frac{(X - Y) - (-1)}{\sqrt{3}} > \frac{0 - (-1)}{\sqrt{3}}\right) \\ &= P\left(Z > \frac{1}{\sqrt{3}}\right) = P(Z > 0.58) \\ &= 0.5 - I(0.58) = 0.5 - 0.219 = 0.281. \end{aligned}$$

2 「確率統計」の試験の得点 X は $N(55, 10^2)$ に従う。したがって、 $Z = \frac{X - 55}{10}$ は標準正規分布に従う。

(1)

$$\begin{aligned} P(60 < X < 70) &= P\left(\frac{60 - 55}{10} < \frac{X - 55}{10} < \frac{70 - 55}{10}\right) \\ &= P(0.5 < Z < 1.5) \\ &= I(1.5) - I(0.5) \\ &= 0.4332 - 0.1915 = 0.2417. \end{aligned}$$

受験者は 300 人だから、 $300 \times 0.2417 = 72.51$ より、およそ 73 人。

(2) 求めるものは $P(X > k) = 0.2$ となる k の値である ($k > 55$ と考えてよい)。

$$\begin{aligned} 0.2 &= P(X > k) = P\left(\frac{X - 55}{10} > \frac{k - 55}{10}\right) = P\left(Z > \frac{k - 55}{10}\right) \\ &= 0.5 - P\left(0 < Z < \frac{k - 55}{10}\right) = 0.5 - I\left(\frac{k - 55}{10}\right). \end{aligned}$$

よって、 $I\left(\frac{k - 55}{10}\right) = 0.5 - 0.2 = 0.3$ である。正規分布表において確率の値が 0.3 に一番近いのは

$I(0.84)$ であるから、 $0.84 = \frac{k - 55}{10}$ となり、これを解くことにより $k = 55 + 8.4 = 63.4$ を得る。

したがって、64 点以上ならば「A」がつく ことがわかる。

確率統計 第4回小テスト 解答

3

- (1) $1000k - 250(20 - k) = 1250k - 5000$.
- (2) 二項分布 $\text{Bin}(n, p)$ の期待値は np , 分散は $np(1-p)$ である (教科書 p.54 を参照). したがって, 勝った回数 X の期待値は $20 \times \frac{1}{3} = \frac{20}{3} = 6.67$, 標準偏差は $\sqrt{20 \times \frac{1}{3} \times \frac{2}{3}} = \frac{2\sqrt{10}}{3} = 2.11$.
- (3) (1) の結果から, 求めるものは $1250k - 5000 > 3000$ を満たす k である. これを解くと, $k > \frac{8000}{1250} = 6.4$ を得る. したがって, 少なくとも 3000 円得をするためには 7 勝 する必要がある.
- (4) 求める確率は $P(7 \leq X \leq 20)$ であるが, 正規分布で近似する場合は $P(6.5 \leq X \leq 20.5)$ を求める. 仮定から, X は $N\left(\frac{20}{3}, \frac{40}{9}\right)$ に従うと考えてよいので, $Z = \frac{X - \frac{20}{3}}{\frac{2\sqrt{10}}{3}}$ は標準正規分布に従う. よって,

$$\begin{aligned} P(6.5 \leq X \leq 20.5) &= P\left(\frac{6.5 - \frac{20}{3}}{\frac{2\sqrt{10}}{3}} \leq Z \leq \frac{20.5 - \frac{20}{3}}{\frac{2\sqrt{10}}{3}}\right) = P\left(-\frac{0.5}{2\sqrt{10}} \leq Z \leq \frac{41.5}{2\sqrt{10}}\right) \\ &= P(-0.08 \leq Z \leq 6.56) \\ &= I(0.08) + I(6.56) = 0.0319 + 0.5 = \underline{0.532}. \end{aligned}$$

4 大型のりんご 1 個の重さ X は $N(330, 15^2)$ に従い, 並型のりんご 1 個の重さ Y は $N(280, 10^2)$ に従う.

- (1) X_1, X_2, X_3 は独立で X と同一の分布に従う. 「無作為に選んだ大型のりんご 3 個の合計の重さ W の分布」は $X_1 + X_2 + X_3$ の分布である. これも正規分布で, $E(W) = E(X_1 + X_2 + X_3) = 3E(X) = 990$, $V(W) = V(X_1 + X_2 + X_3) = 3V(X) = 3 \times 15^2$ より, 求める分布は $N(990, 675)$ である.
- (2) 求めるものは $P(W > 1000)$. $Z = \frac{W - 990}{\sqrt{675}} = \frac{W - 990}{15\sqrt{3}}$ は標準正規分布に従う.

$$\begin{aligned} P(W > 1000) &= P\left(\frac{W - 990}{15\sqrt{3}} > \frac{1000 - 990}{15\sqrt{3}}\right) \\ &= P\left(Z > \frac{2}{3\sqrt{3}}\right) = P(Z > 0.38) \\ &= 0.5 - I(0.38) = 0.5 - 0.148 = \underline{0.352}. \end{aligned}$$

- (3) 求めるものは $P(X < Y)$, すなわち $P(X - Y < 0)$ である. $X - Y$ も正規分布に従うが, その期待値, 分散は

$$\begin{aligned} E(X - Y) &= E(X) - E(Y) = 330 - 280 = 50, \\ V(X - Y) &= V(X) + (-1)^2 V(Y) = 15^2 + 10^2 = 325 \end{aligned}$$

であるから, $Z = \frac{(X - Y) - 50}{\sqrt{325}} = \frac{(X - Y) - 50}{5\sqrt{13}}$ は標準正規分布に従うことがわかる. したがって,

$$\begin{aligned} P(X - Y < 0) &= P\left(\frac{(X - Y) - 50}{5\sqrt{13}} < \frac{0 - 50}{5\sqrt{13}}\right) \\ &= P\left(Z < -\frac{10}{\sqrt{13}}\right) = P(Z < -2.77) \\ &= 0.5 - I(2.77) = 0.5 - 0.4972 = \underline{0.0028}. \end{aligned}$$